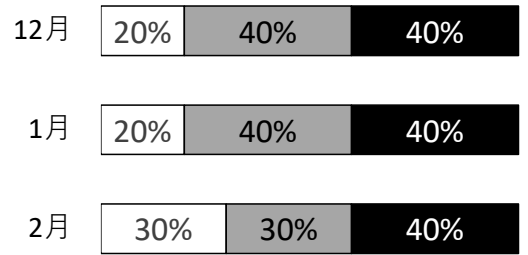


# 暴風雪・大雪に備えよう！

暴風雪や大雪など気象災害への警戒が必要な季節となりました。今年の1月21日からの暴風雪では建物倒壊や生乳廃棄など大きな被害がありました。

11月発表の3ヶ月予報では、今冬は降水量が平年並～多い確率が高いとされています(図1)。

平常時からの備えと悪天候の予報が出た際の対応を確認しておきましょう。



□平年より少ない ■平年並 ■平年より多い

図1 12～2月の降水量確率  
 (北海道日本海側・オホーツク海側)

## ○明るいうちに早めの除雪作業

- ・D型ハウス側面の除雪をこまめに行い、倒壊を防止する。

※昨季はD型ハウスの倒壊が多く見られました。

- ・屋根など高所の除雪作業は一人で行わない。また、ヘルメットや命綱など安全策を講じる。
- ・雪で狭くなっている処理室や飼料タンクまでの通路幅は、集乳車やトラックが入れるようできるだけ広くとっておく。
- ・除雪作業車（タイヤショベル等）を運転する際は、死角があることを認識し、子どもやお年寄りを絶対に近づかせないように、周囲の確認と注意を行う。

## ○停電対策

- ・自家発電機の試運転を行う。自家発電機がない場合は手配の確認を行う。
- ・懐中電灯や携帯電話など状況確認や連絡に必要な機材、電池及び電池式充電器を用意する。

## ○情報収集に努める

道路情報 (通行止め情報)		天気 (宗谷管内の防災情報)		停電情報	
国土交通省 北海道開発局		気象庁		ほくでんネット ワーク	

災害発生時の対応は、当センターHPに掲載しています。  
 HPは「宗谷農業改良普及センター 災害時など緊急対策情報」で検索  
 または、右のQRコードからアクセスできます。



災害対策情報はこちら